

2022 年度 事業報告書

2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日

一般社団法人エンドオブライフ・ケア協会

I 2021 年度事業実施の方針（2022 年度事業計画より）

コロナ感染は様々な形で私たちの生活に影響を及ぼしました。発熱があり、息が苦しく救急車の搬送を依頼しても、受け入れ病院がなく、搬送できないまま自宅や施設で過ごさないといけない医療崩壊が現実のものとなりました。恐ろしいことは、その事実がありながらもメディアでは報道がきわめて少ないということです。すでにコロナ感染がはじまり 2 年が経つと、人々の心は、麻痺しているように思えます。人口減少時代において、多死社会がもたらす看取り難民は、すでに現実のものとなりました。

エンドオブライフ・ケア協会の活動は、死を前にした人に対しても誠実に関わることができる担い手育成から出発しました。励ましも慰めも通じない絶望のなか苦しむ人に、安易な励ましではなく、援助的コミュニケーションをもとに、わかってくれる人として関わること。解決できる苦しみに対する援助だけではなく、解決できない苦しみに対しても、穏やかになれるその人の支えを、対話を通して紡いでいくとき、穏やかさを取り戻していく可能性が見えてきます。

2022 年度事業計画の柱は、エンドオブライフ・ケア協会が大切にしてきたこれらの実践をユニバーサル・ホスピスマインドとして新たに提唱し、社会実装していくことにあります。一部の人が行う、一部の人のためのケアではなく、すべての人が行える、すべての人のためのケアであるために、活動の輪を広げて参ります。皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

代表理事 小澤 竹俊

II 2022 年度の成果

1. 各事業について

(1) 「人生の最終段階」に対応できる人材の育成

期初計画

- ◇ 超高齢少子化多死時代に備え、看取りを含めた解決困難な苦しみに対応できる人材を育成することを目的として、2015 年 7 月から「エンドオブライフ・ケア援助者養成基礎講座」（以降、養成講座）を開催してきた。2020 年 2 月下旬、新型コロナウイルス感染症の拡大が懸念されるなか、感染拡大防止の観点から、当面、養成講座をはじめ、主催するイベントの対面開催を中止し、以降オンラインに切り替えて開催を続けている。
- ◇ 2022 年度も、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、主催する研修・イベント等はオンライン開催を基本とする。ただし、エンドオブライフ・ケア援助者養成基礎講座の公開講座については、状況を見ながら、少人数の現地会場参加を受け付け、オンラインとのハイブリッド開催を企画する。段階的に、認定 ELC ファシリテーターが所在する地域でのサテライト会場の設置を視野に入れる。
- ◇ また、土日午後 2 日（事前に e ラーニングによる自己学習）のプログラムを、土日いずれか 1 日のプログラムとしてリニューアルすることで、参加しやすくする。平日夜 4 回については引き続き、隔月開催とし、平日夜 3 回とする。
- ◇ これらのプログラムを必要とする人が、業界内外問わず、講座に容易にアクセスできるように、紹介方法や申し込みシステムを刷新する。

実現したこと（詳細は、P8-9 参照）

- ◇ 養成講座は 2022 年 6 月に対面での開催を再開。翌 7 月には、オンラインと合わせてハイブリッドの開催を開始した。
- ◇ 同時に、内容の刷新を繰り返してきた養成講座の現状に合わせ、e ラーニングのリニューアル、ならびにこれまで週末開催は 2 日間で開催してきたものを、e ラーニング+1 日にリニューアルした。
- ◇ また、サテライト会場として、西尾市、松山市などで、3 拠点同時開催を行った。
- ◇ 養成講座の開催にあたっては、今年度も全国の認定 ELC ファシリテーターと綿密に連携を図った。小グループに分かれてのロールプレイや事例検討等を進行する役割を担っていただきながら、参加者の学びを支援いただいている。

課題

- ◇ 医療介護業界の研修参加がコロナ禍で依然難しい状況にある。各所でオンラインでの会議や研修が増えるに従い、オンラインへのハードルは当初より下がっていることが感じられるが、研修受講への機運はまだ十分に高まってはいないと考えられる。
- ◇ 一方で、対面開催が増えていくに連れて、この機会を待っていたという声も増えている。課題や講座の認知度とアクセシビリティが依然低いため、強みの言語化と業界内外への発信を強化する。

（2）職種や世代を超えて学び、実践するためのコミュニティを支援する活動

期初計画

- ◇ 各地の認定 ELC ファシリテーターや「折れない心を育てる いのちの授業」認定講師がそれぞれのコミュニティでオンラインを含めて活動ができるように支援する。認定 ELC ファシリテーターと引き続き綿密な連携を図り、主催する講座やイベントでの活動を通してスキルアップをサポートする。
- ◇ 特定地域において、希望する場所で最期まで暮らせる体制づくりとして、現地人材と協働のもと、施設等の人材育成と地域福祉関係者との協力体制づくりを推進していく。（日本財団の助成事業として、令和 3 年度からの継続。佐賀県唐津市はその一つ）
- ◇ また、地域には様々な困りごとや、すでに活動している人たちがいるなかで、エンドオブライフ・ケア協会を分母とせず、目指すゴールを共有しながら、地域福祉の視点で連携し、各地の認定 ELC ファシリテーターと連携を図っていく。

実現したこと

- ◇ 継続して開催してきたオンラインでの養成講座やイベント等が、ファシリテーターのスキルアップにつながり、個人のモチベーションアップに留まらずコミュニティ強化にもなっていることが伺える。
- ◇ 日本労働者協同組合ワーカーズコープと「地域で暮らす一人ひとりの尊厳を守り、支え合う地域づくりのための提携」として協定書を締結した。これに伴い、事業所や本部単位で、まずは組合員の方々を対象として、ユニバーサル・ホスピスマインドを学ぶ学習会を実施した。他団体と連携する形での学習会が増えている。
- ◇ 55 か所目の学習会コミュニティが新たに誕生した（ELC きりしま）。ワーカーズコープとの相互交流が始まっている。

課題

- ◇ 対面での開催が増えてくるなかで、対面であればとの参加してくださるファシリテーターも少ない。オンラインを機に疎遠になっているファシリテーターや、一方で、きっかけをもとに参加してくださるファシリテーターがいるため、個々の状況に応じて案内していく。
- ◇ エンドオブライフ・ケア協会を分母とせず、地域には様々な困りごとや、すでに活動している人たちがいるなかで、目指すゴールを共有しながら、地域福祉の視点で連携していく。

(3) 地域コミュニティのレジリエンス強化「折れない心を育てる いのちの授業」

期初計画

- ◇ ホスピスや在宅医療の現場から学んできた、「答えのない、自分や他者のこころの問題との向き合い方」を、今を生きる子どもたちへ届けるために、2000年から代表理事が1人で始めた学校への出前授業「いのちの授業」。2019年から本格的に講師育成を開始し、現在は、オンラインのみで、講師トレーニングから認定後の継続学習まで行い、全国から参加が可能となっている。
- ◇ 2021年度に引き続き、講師を育成し、各自が対面ないしオンラインで授業が実施できるよう推進する。講師トレーニングはオンラインで年間4回開催。3か月ごとのサイクルで、受講・評価・認定プロセスを運用する。
- ◇ また、認定後、講師が自信を持ってオンラインなどで授業を実施できるようになったり、学校等の場へ提案に伺えるようになったりすることを目指し、認定講師がお互いの経験から学び合える学習会を毎月開催する。その企画・運営も、認定講師が主体となって行えるようサポートする。
- ◇ 認定講師が活躍できる場を増やしていくべく、エンドオブライフ・ケア協会からも各所へ働きかけていく。特に、特定地域において学校や自治会やNPO等とまちづくりの視点で面での展開を試行する。
- ◇ なお、持続的な運用に向けては、教材の拡充、プロモーションも重要であると考えたとき、今後は活動資金の確保が大きな課題となる。寄付、助成、企業連携等の可能性を検討する。

実現したこと

- ◇ 認定講師による授業に参加した人の数は、全国16,407名で、昨年度の8,076名から大きく増加。
- ◇ コロナ禍で大人だけでなく子どもも苦しい想いをしていたり、自他を傷つける言動が報告されたりするなか、大阪市教育委員会と連携し、今年度も市内小中学校から依頼を受けて出前授業を多数実施した。1年間で市内23校58クラス、2,134名への実施となり、参加者数は昨年度の倍となった。
- ◇ 新たに講師が25名認定となった。最年少講師は中学3年生15歳となり、日本ホスピス在宅ケア研究会奈良大会にて、100名を超える大人の参加者を前に初登壇した。周囲が刺激を受けている。
- ◇ 毎月15日に講師同士の学び合いの会を有志の認定講師主催で継続開催し、少しずつプレゼンテーションの練習、フィードバックと、テーマに基づく対話を繰り返してきたことで、いざ声がかかったときに挑戦する人が増えた。
- ◇ また、認定講師が独自の繋がりをもとに、特定地域で広がりを見せている（沖縄市、鹿児島市、霧島市、ほか）。学校に限らず、地域コミュニティの様々な場所、たとえば、幼稚園、学童保育、消防署、病院などでも、感染症に配慮しながら対面やオンラインでの授業実施について報告があった。

課題
<ul style="list-style-type: none"> ◇ 実績をもとにした他地域への横展開 オンラインを含めて、認定講師がそれぞれの地域で活動できるように、Facebook グループや月 1 回の学習会などで、活動の場づくりに関わる情報交換を行っていく ◇ 経験を重ねフィードバックし合える仕組み ◇ 教材の拡張、学校案件のコーディネート、プロモーション等に関わる財源の獲得

(4) 社会課題と活動への関心を育む取り組み

期初計画
<ul style="list-style-type: none"> ◇ 2023 年度も、学会・研究会等における教育講演、ポスター発表等を通じて活動成果を可視化していく。 ◇ 活動の関係人口を増やす上で、共通のゴールを目指す様々な他団体との連携や、これまで十分に活用できていない媒体を通して、医療・介護業界に留まらず発信していく。

実現したこと
<ul style="list-style-type: none"> ◇ 学会発表 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 小澤 竹俊. スピリチュアルケアのエッセンスを学校教育に取り入れる試み～折れない心を育てるいのちの授業プロジェクト～, 日本緩和医療学会大会 ポスター発表, 2022 年 7 月. ➤ 小澤 竹俊. ユニバーサル・ホスピスマインドがもつ人材育成の可能性, 日本在宅医療連合学会大会 シンポジウム発表, 2022 年 5 月. ➤ 久保田 千代美. 地域ケア会議に役立つケアマネジャー研修会～多職種で援助を言葉にするオンラインでの事例検討の進め方～, 第 4 回日本在宅医療連合学会, 2022 年 7 月 ➤ 久保田 千代美. 第 29 回日本ホスピス・在宅ケア研究会全国大会 奈良大会 大会長 / 地域で育む医療的ケア児～通学の現状と課題～シンポジウム 座長, 第 29 回日本ホスピス・在宅ケア研究会 in 奈良, 2022 年 10 月. ➤ 久保田 千代美. 猫の代理意思決定から得られた知見～在宅看取りを選択するまで～, 第 46 回日本死の臨床研究会年次大会, 2022 年 11 月. ➤ 久保田 千代美. 第 29 回日本死の臨床研究会近畿支部大会 奈良大会 大会長 / 「生きるに値しない命」はあるか?～今ここで考える尊厳といのち～ シンポジウム 座長, 第 29 回日本死の臨床研究会近畿支部奈良大会, 2023 年 2 月. ◇ 研究 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 終末期患者が抱く他者への負担感軽減に向けた援助的コミュニケーション教育の検証 養成講座の教育効果検証に関わる研究が、千葉宏毅氏（北里大学医学部医学教育研究部門助教）を中心に 2018 年から行われており、当協会として本年度も協力している。 ◇ メディア出演・掲載（一部） <p>当協会理事に限らず、認定 ELC ファシリテーター/折れない心を育てる いのちの授業認定講師が、それぞれの地域における活動を新聞、雑誌等に取材いただいたり、テレビ、ラジオ等のメディアに出演したりしたという報告が複数寄せられた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 解決できない苦しみを抱える人に向き合うことのできる人材育成と社会づくりを目指す. 月刊『医療経営士』. 2022 年 5 月号

- 「苦しみ 支えで穏やかに」 医師の長野さん「命の授業」 宮里中 3年. 2022年5月14日
- 「あと一年で人生が終わる」と想像してみよう. 月刊『PHP』（PHP 研究所）2022年7月号
- 安心できる暮らし支援 命ぐすい 耳ぐすい. 『沖縄タイムス』2022年9月8日
- 「エンドオブライフ・ケア協会」取材！すべての人生のそばに、専門的なこころのケアを提供. 『テラコヤプラス』. 2022年9月
- 「聴く力」誰かの支えに浦添、「いのちの授業」. 『琉球新報』. 2022年10月8日
- ITmedia エグゼクティブ勉強会レポート ホスピスにおける人との関わり方、マインドから企業のリーダーとしての役割を学ぶ. 2022年9月26日
- <江南>古知野中学校 困った時は 声を上げ、支え合う 「いのちの授業」. 『尾北ホームニュース』. 2022年10月14日
- 「みとりの心」をまちへ <滝野隆浩の掃苔記（そうたいき）>. 毎日新聞 朝刊総合面. 2022年10月16日
- 『介護ビジョン』×『未来をつくる kaigo カフェ』コラボ企画 多職種が集い・学ぶことで、介護や医療の言葉の意味が広がる. 『介護ビジョン』（日本医療企画）2022年11月号
- 誰もが誰かの支えになれる。エンドオブライフ・ケア協会が「いのちの授業」を通して目指すこと. 『MASHING UP』. 2022年11月4日
- 心の「重荷」をやわらげるコツは. 『m3.com』医療維新. 2022年11月6日
- 病棟業務への ACP 導入と教育活動の工夫～話すことから始まる ACP. 『主任看護師 Style』. 2022年11-12月号
- ホスピスマインド、「みんなのおうち」で支え合う地域づくりへ まちづくり講座に「いのちの授業」を. 『日本労協新聞』. 10月25日
- メンタルヘルス研修会「折れない心を育てるいのちの授業」. 『広報かもめ』. 2023年1月10日
- 『FM コザ』DEN DEN ラジオ SDG~s. 2023年1月28日
- 本人の意思を尊重した看取りのために～人生の最終段階における医療・ケアの取り組み～. 『ミエルかごしま』鹿児島放送. 2023年2月11日
- 緩和ケアの精神 広がれ 松山 ELC 愛媛講演会「いのちの授業」苦しむ人たちの支えに. 『愛媛新聞』. 2023年3月30日

課題

- ☆ 「子ども」「地域」領域における研究のテーマ設定、ならびに相談先、予算の獲得

（5）現役世代 / 将来世代の「もしも」に備える

期初計画

- ☆ 職種を問わず、対人援助に関心のある方であればどなたでも参加できる機会として、問いをベースにした対話型オンラインイベント「新型コロナ・ショックに備えて最強のチームを作ろう」改め、「ユニバーサル・ホスピスマインドをもとに最強のチームを作ろう」を、今年度も毎月第三火曜日に開催していく。
- ☆ さらに、将来世代が活動に関心を示し、自発的に学べる機会を応援すべく、認定 ELC ファシリテーターや認定講師が繋がりを持つ専門学校や大学等において、自主的な学習会をサポートする。

実現したこと

- ◇ 最強チームイベントシリーズでは、問いをもとに対話するコミュニティとして、定期的に参加する人が増えた。一方で、はじめての方も医療介護従事者に限らず参加いただき、特に認定 ELC ファシリテーターの場づくりにより、安心して参加できた、他の人が話すことを聴くうちに想いが沸き上がってきた、などの声を多くいただいている。
- ◇ また、専門職種としてこれから現場の一翼を担う学生への教育を重要な活動の一つと捉え、医学部教育（卒前・卒後教育）における対人援助のプログラムとして、2022 年度には、以下 7 つの医学部で講義を行った。長崎大学医学部、愛媛大学医学部、愛知医科大学、昭和大学医学部、東京医科大学医学部、北里大学医学部、慈恵医大医学部
- ◇ 以下の大学には学生主体の学びの場が立ち上がった。琉球大学、慈恵医大医学部

課題

- ◇ 新たな関係者との連携
- ◇ 医学教育（卒前・卒後教育）への関わり

2. 法人運営について

（1）強みの言語化と発信

ホスピスという、解決が難しい苦しみと関わる現場で学んできた、答えのないところの問題に向き合うためのアプローチである、ホスピスマインド。それを、一部の専門家が一部の人だけを対象に行うのではなく、人生のあらゆる段階で、自分や大切な人の心のケアができるように、ユニバーサル・デザインからヒントを得て、ユニバーサル・ホスピスマインドという名称でコンセプトをまとめている。第三者からの協力のもと、ステートメント、シンボルマーク、イメージ動画を作成し、講座やイベント等に連動して紹介するようになった。

0 歳から 100 歳まで、誰もがどこでも平等に、
答えのないところの問題に向き合えるように。



また、これまで繋がりを持った方々との関係性強化、ならびに、関係人口の広がりを視野に、YouTube チャンネルを開始。業界の関係者に限らず、地域で困難を抱えた人と誠実に関わる多様な方と対談機会をいただきながら、ユニバーサル・ホスピスマインドの本質を言語化することを試みた。

これらの結果、団体内部はもとより、活動に参画してくださっている方、特に認定ファシリテーターや認定講師にとっても、より活動を紹介しやすくなったと報告があった。

（2）ホームページ等媒体の整理とプロボノとの協働

活動の広がりに伴い、複雑化している情報の裏側（システム側）を改修してきたが、ユーザーのインターフェースとなるホームページについて、まず、プロボノの協力のもと、情報の整理とユーザビリティの改善を行った。次に、ユニバーサル・ホスピスマインドを軸に、ホームページのデザイン変更に着手した。情報量が多いため、6 か月かけて段階的に更新していく。

III 事業の実施状況

事業名/活動内容	計画			実績			
	実施場所	回数等	人数(人)	実施日	場所	回数等	人数(人)
(1) 「人生の最終段階」に対応できる人材の育成							
「エンドオブライフ・ケア援助者養成基礎講座」(公開講座):週末	オンライン/ 各地域	16回	240	19回 336			
				2022年4月23日	オンライン		19
				2022年5月21日	オンライン		24
				2022年6月25日	東京(虎ノ門)/オンライン		20
				2022年7月16日	東京(虎ノ門)/オンライン		8
				2022年8月28日	四日市/オンライン		24
				2022年9月11日	大阪/オンライン		18
				2022年10月23日	福岡/オンライン		28
				2022年11月20日	東京(虎ノ門)/オンライン		34
				2022年12月11日	東京(池袋)/オンライン		30
				2023年1月15日	福岡/オンライン		21
				2023年2月12日	東京(虎ノ門)/オンライン		8
				2023年2月26日	大阪/愛知/オンライン		29
				2023年3月19日	名古屋/松山/オンライン		28
「エンドオブライフ・ケア援助者養成基礎講座」(公開講座):平日夜間	オンライン			2022年5月11日	オンライン		9
				2022年7月7日	オンライン		11
				2022年9月7日	オンライン		6
				2022年11月10日	オンライン		5
				2023年1月11日	オンライン		10
				2023年3月2日	オンライン		4
「エンドオブライフ・ケア援助者養成基礎講座」(インハウス研修)	各地域	4回程度	160	4回 187			
				2022年9月23日	山梨		41
				2022年10月15日	オンライン		41
				2022年10月30日	唐津		52
				2022年11月13日	沖縄		53
(2) 職種や世代を超えて学び、実践するためのコミュニティを支援する活動							
「認定ELCファシリテーター」の認定・更新	事業所	通年	20	-	事業所	通年	14
地域学習会(認定ELCファシリテーターによる学習会)	オンライン/ 各地域	通年	3,500	-	オンライン/各地域	105回	2,782
(3) 地域コミュニティのレジリエンス強化~「折れない心を育てるいのちの授業」~							
認定講師による各地での授業	オンライン/ 各地域	通年	8,000	-	オンライン/各地域	199回	16,407
講師トレーニング	オンライン	4回	120	4回 118			
				2022年4月17日	オンライン		24
				2022年7月3日	オンライン		33
				2022年10月16日	オンライン		28
				2023年1月22日	オンライン		33
「折れない心を育てるいのちの授業 認定講師」の認定	オンライン	通年	40	-	オンライン	通年	25
認定講師の学び合い	オンライン	12回	360	-	オンライン	12回	-
(4) 社会課題と活動への関心を育む取り組み							
メディア掲載・出演	-	通年	-	『毎日新聞』 『日本労協新聞』 『愛媛新聞』 『ミエルかごしま』(鹿児島放送) 『FMコザ』DEN DENラジオSDG~s 等		通年	-
研究・学会発表・論文投稿	-	通年	-			通年	-

事業名/活動内容	計画			実績			
	実施場所	回数等	人数(人)	実施日	場所	回数等	人数(人)
(5) 現役世代/将来世代の「もしも」に備える							
設立7周年シンポジウム	オンライン	1回	300	2022年4月16日	オンライン	1回	393
「ユニバーサル・ホスピスマインドをもとに最強のチームを作ろう」	オンライン	12回	600			12回	869
Well-being				2022年4月19日	オンライン		61
対立と協調				2022年5月17日	オンライン		60
ユニバーサル・ホスピスマインド				2022年6月21日	オンライン		62
柏木哲夫先生から学ぶホスピスマインド				2022年7月19日	オンライン		86
生活困窮者支援・抱樸の奥田さんから学ぶユニバーサル・ホスピスマインド				2022年8月16日	オンライン		73
山崎章郎先生				2022年9月20日	オンライン		87
”ひとりじゃないよ”：副島賢和先生が院内学級の教師として学んだこと				2022年10月18日	オンライン		77
「学ぶことは生きること」(本間正人先生)				2022年11月15日	オンライン		55
あなたのまちのユニバーサル・ホスピスマインド				2022年12月20日	オンライン		115
そこが知りたい「ACP井戸端会議」				2023年1月17日	オンライン		51
コンパッション都市とユニバーサル・ホスピスマインド				2023年2月21日	オンライン		58
一人ひとりの人生の輝きを捉えたい(秋山正子さん)				2023年3月20日	オンライン		84
世代を超えて継承していく「わたし」～はじめてのディグニティ・セラピー～	オンライン	-	-	2023年3月12日	オンライン	1回	41
死別後の悲しみとともに生きる	オンライン	-	-	2023年2月5日	横浜	1回	47

以上